

令和6年3月28日

令和5年度病害虫防除技術情報（第4号）

和歌山県農作物病害虫防除所

チャバネアオカメムシの越冬量について

県内全域でチャバネアオカメムシの越冬量が平年よりも多くなっています。

1. 病害虫名：チャバネアオカメムシ越冬成虫
2. 対象地域：県内全域
3. 越冬量：多
4. 加害期間：4月下旬～
5. 越冬状況
  - 1) 落葉中のチャバネアオカメムシ越冬成虫の捕獲頭数は、落葉50リットル当たり2.9頭（前年0.0頭、平年0.5頭）と過去10年と比較して最も多かった（第1表）。
  - 2) 越冬成虫の捕獲地点率は48.9%（前年2.1%、平年21.9%）と、平年よりやや高かった（第1表）。

第1表 チャバネアオカメムシの越冬調査の結果

年次	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	平年値
捕獲頭数/地点	2.1	0.3	0.5	0.0	1.5	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	2.9	0.5
捕獲地点率(%)	51.1	23.4	31.0	0.0	61.7	6.4	13.0	8.5	21.7	2.1	48.9	21.9
調査か所数	47	47	47	47	47	47	47	47	46	47	47	—

注1) 定点の落葉50リットルを1～2月に採集。平年値：過去10年の平均値

注2) 捕獲地点率は全調査地点のうち越冬成虫が捕獲された地点の百分率

6. 今後の対応
  - 1) 4月以降の発生動向については、果樹カメムシ類の予察灯での誘殺数データを鳥獣害対策課のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報 (<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>) に掲載します。これらの情報や各地域の振興局、JA等の情報を参考にしてください。
  - 2) 4月以降、気温の上昇とともに越冬成虫が果樹ほ場に飛来し、果実に被害が出始めるので注意が必要です。
  - 3) 飛来量はほ場間差が大きいため、ほ場内での発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早めに行いましょう。
  - 4) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用しましょう。

和歌山県農作物病害虫防除所 紀の川駐在(0736-73-2274)  
有田川駐在(0737-52-4320)  
みなべ駐在(0739-74-3780)